

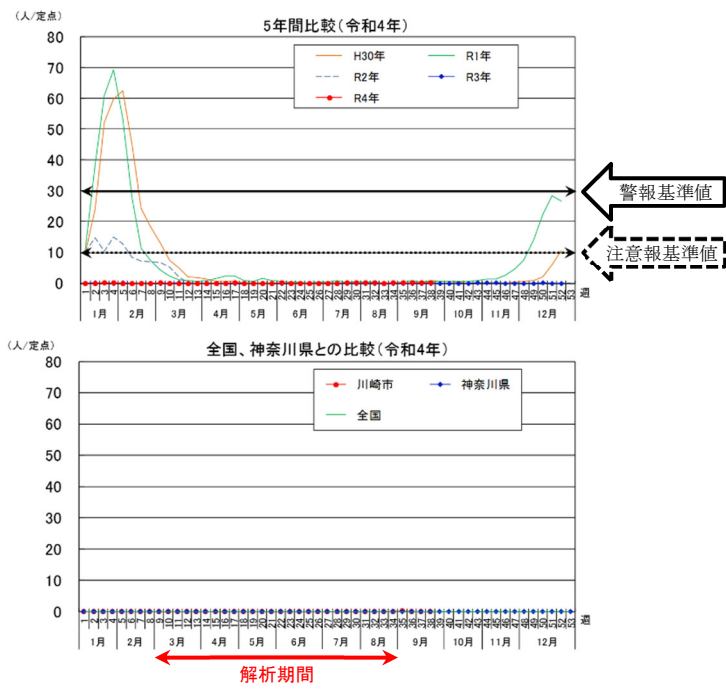
定点把握疾患の届出状況(令和4年3月～8月)

<インフルエンザ定点対象疾患>

インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

【川崎市】

今期(令和4年3月～8月)は定点当たり0.007人の報告となり、極めて低いレベル(過去5年平均の報告数の0.006倍)で推移しました。2021/2022シーズンは、令和3年第43週に2件、第44週に5件、第45週、第50週、令和4年第3週、第4週、第9週、第17週、第22週、第29週及び第30週に各1件、第31週に4件、第32週及び第34週に各1件と、計22件の報告がありました。なお、流行開始の目安である定点当たり1.00人を超える週はありませんでした。

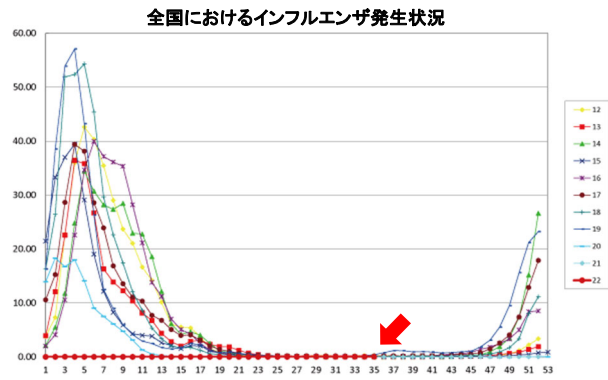


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	2	R4.7.25	鼻腔ぬぐい液	ヒトメタニューモウイルス
					ヒトボカウイルス 1型
中原区	男	1	R4.8.9	鼻腔ぬぐい液	ヒトボカウイルス 1型

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

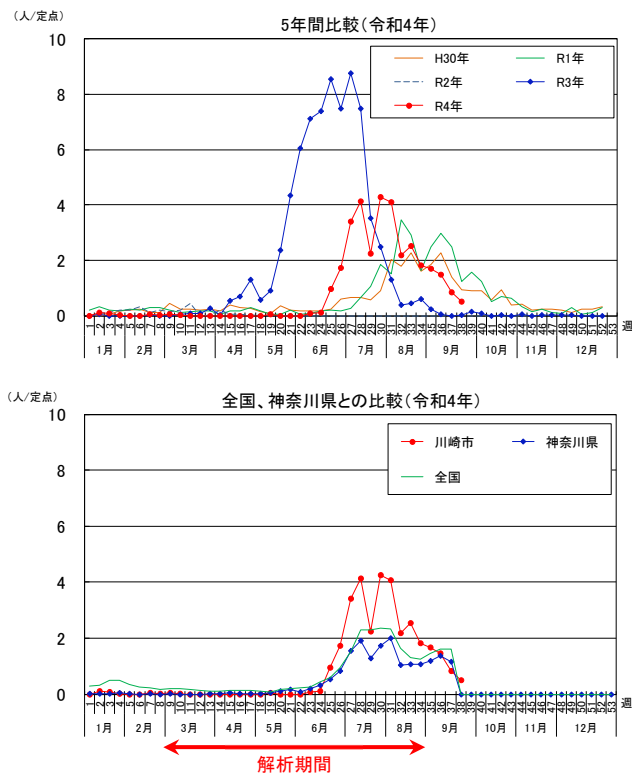


<小児科定点対象疾患>

RSウイルス感染症

【川崎市】

今期は定点当たり 1.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.08 倍で、例年並みのレベルで推移しました。6 月下旬以降患者報告数が増加し、第 30 週に流行のピーク（定点当たり 4.27 人）となりました。

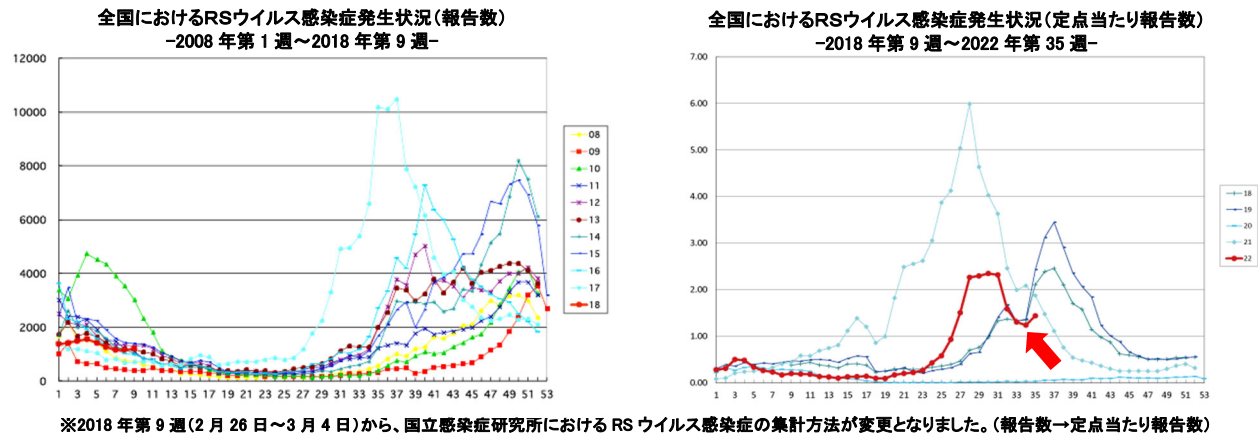


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
幸区	男	2	R4.3.7	鼻腔ぬぐい液	アデノウイルス 3 型
幸区	女	11 か月	R4.7.12	鼻腔ぬぐい液	RSウイルス A 型
幸区	女	1	R4.8.3	鼻咽頭ぬぐい液	RSウイルス A 型
幸区	女	1	R4.8.3	鼻咽頭ぬぐい液	ヒトパラインフルエンザウイルス 1 型

【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

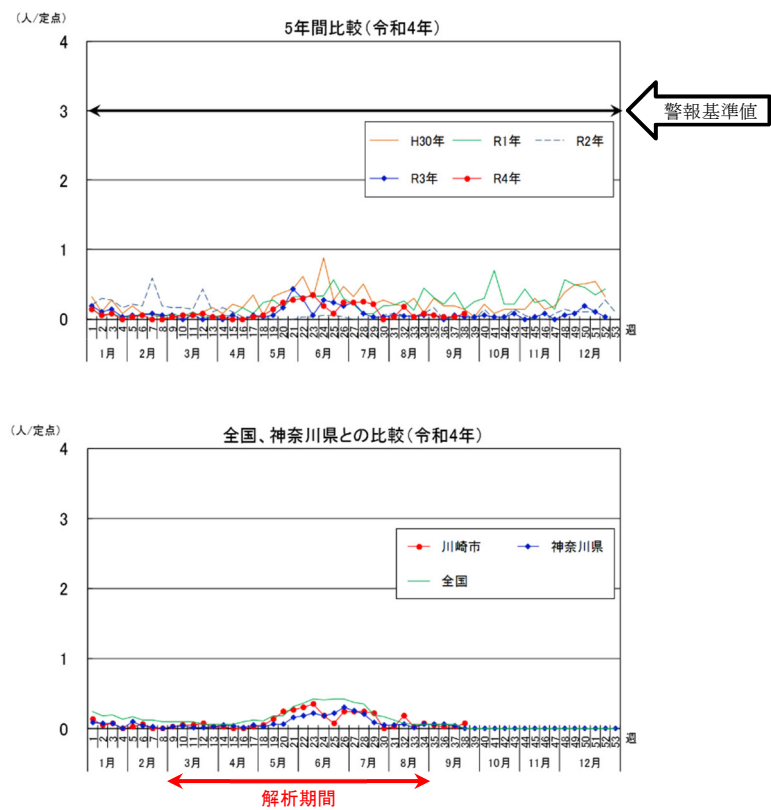


咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり 3 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.12 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.53 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。

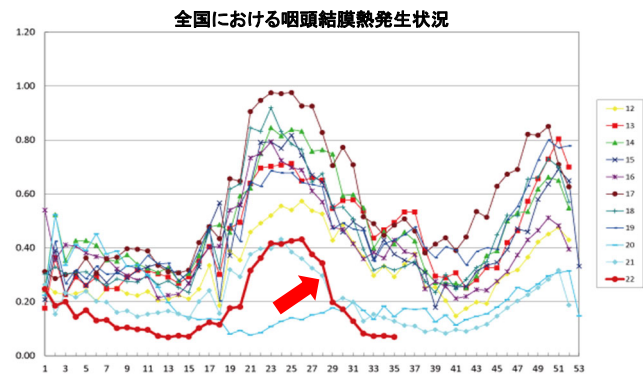


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
多摩区	男	2	R4.3.7	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 6 型
多摩区	男	10 か月	R4.7.1	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 6 型

【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。

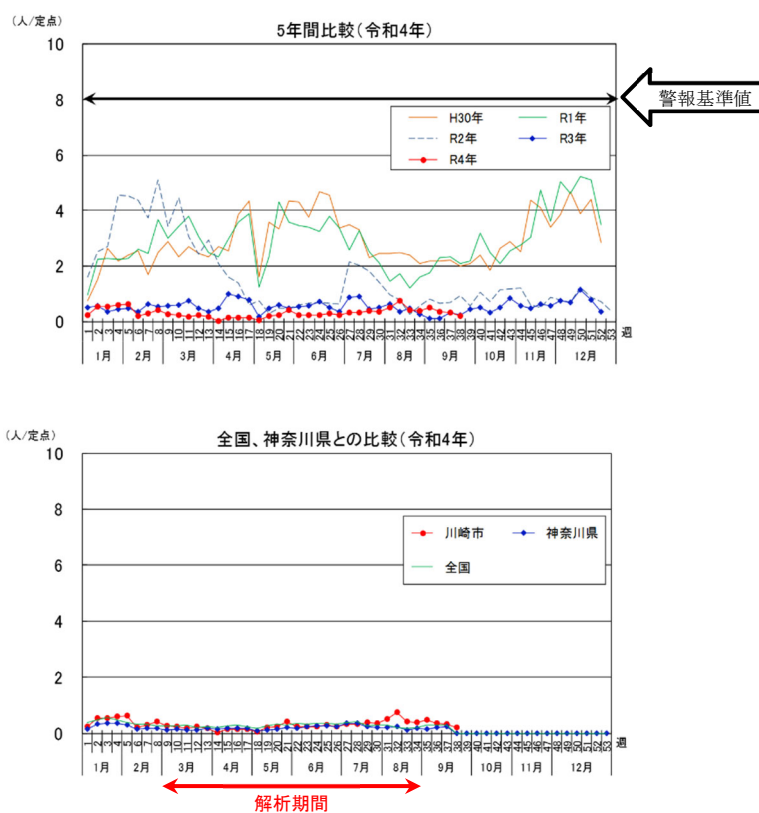


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.27 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.12 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

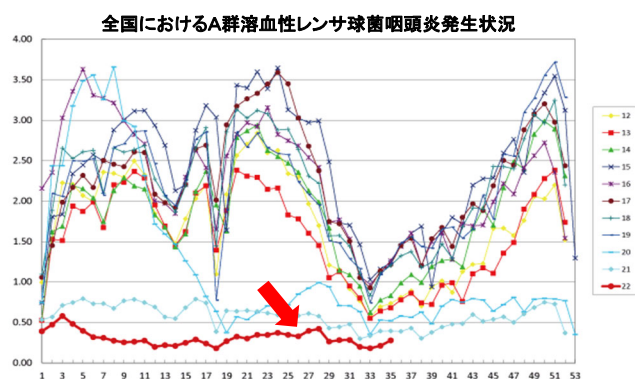
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

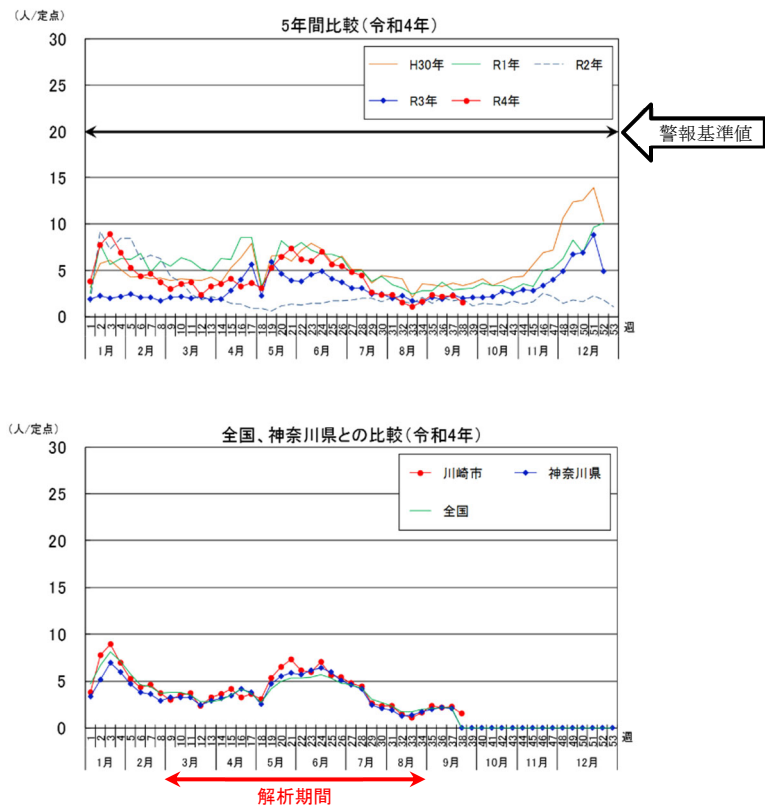


感染性胃腸炎(警報基準値:定点当たり 20 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 4.00 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.87 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。

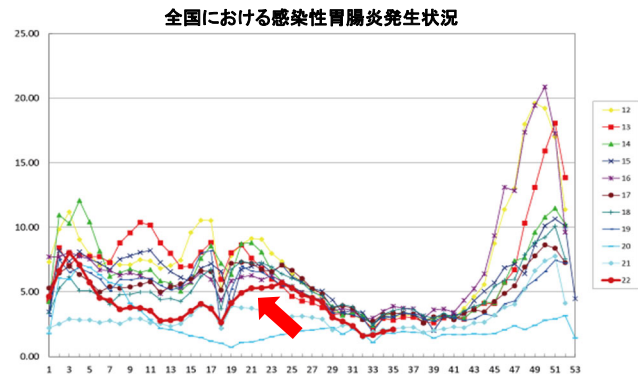


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果(ウイルス)	検査結果(細菌)
中原区	男	6 か月	R4.4.18	ふん便	－	陰性

【全国及びその他】

全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。

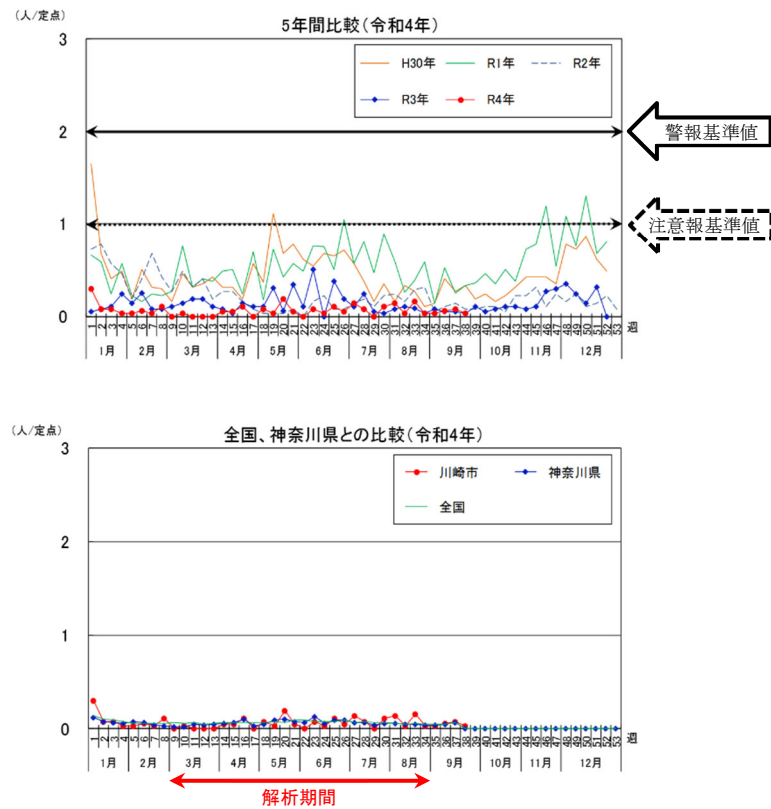


水痘(警報基準値:定点当たり2人、注意報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.16 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

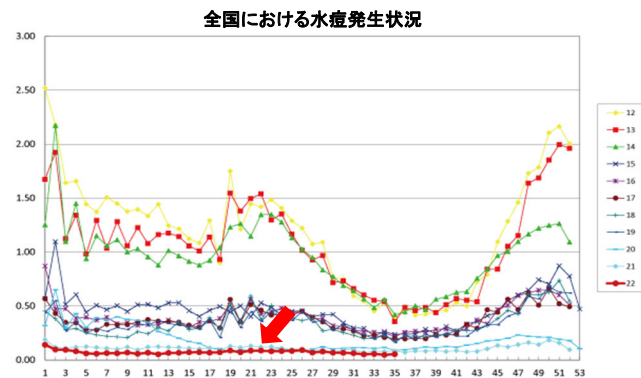
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

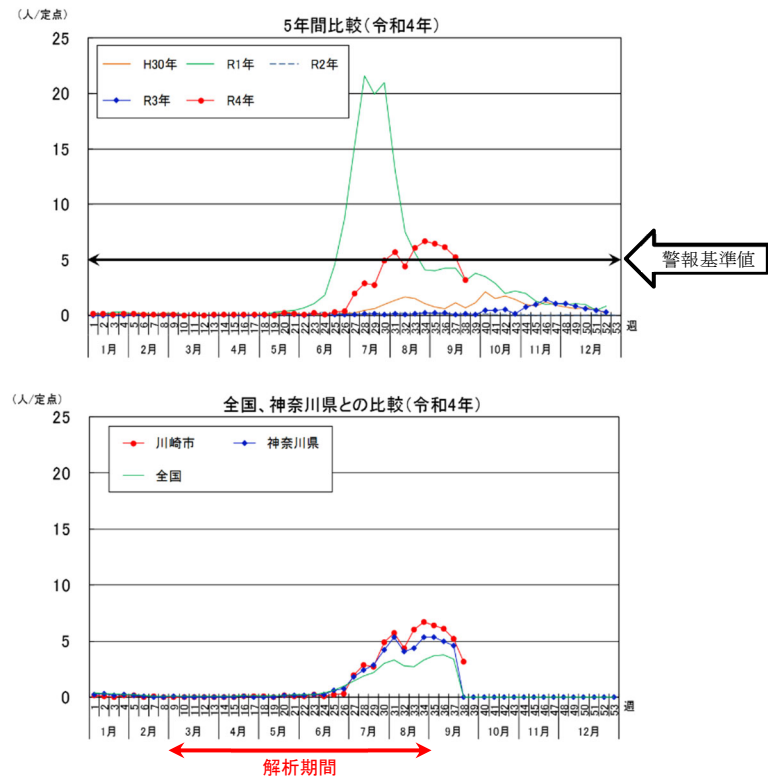


手足口病(警報基準値:定点当たり 5 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 1.36 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.79 倍で、例年並みのレベルで推移しました。7 月上旬以降報告数が増加し、第 31 週には定点当たり報告数が 5.71 人となり、流行発生警報基準値を超えたため、令和元年以来 3 年ぶりに、市内に流行発生警報を発令しました。第 34 週に流行のピーク（定点当たり 6.69 人）となりましたが、9 月下旬以降は報告数は減少しています。

今期、流行発生警報基準値以上となった週は、幸区で第 27 週～第 34 週、川崎区で第 30 週、第 31 週及び第 34 週、宮前区で第 30 週～第 34 週、高津区で第 31 週及び第 34 週、多摩区及び麻生区で第 33 週及び第 34 週でした。

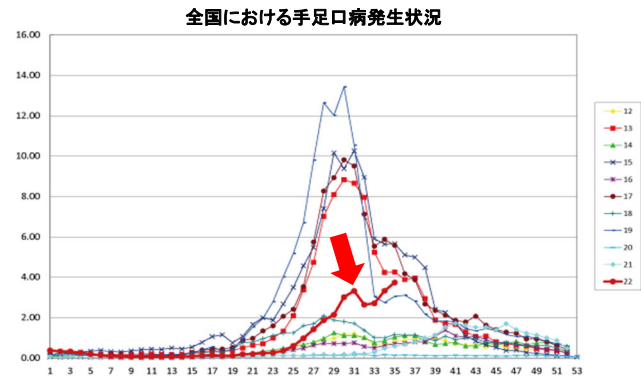


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	9 か月	R4.5.23	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
中原区	女	3	R4.7.4	咽頭ぬぐい液	ライノウイルス A12 型
					コクサッキーウイルス A16 型
多摩区	女	3	R4.7.28	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	男	1	R4.8.1	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	女	2	R4.8.23	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	女	1	R4.8.29	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型

【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

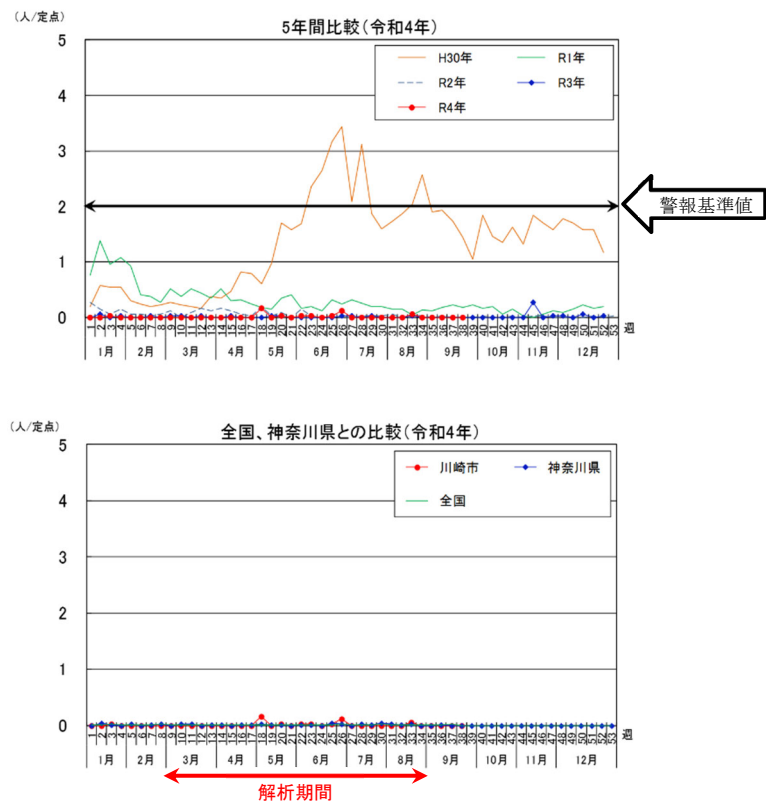


伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.02 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.05 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

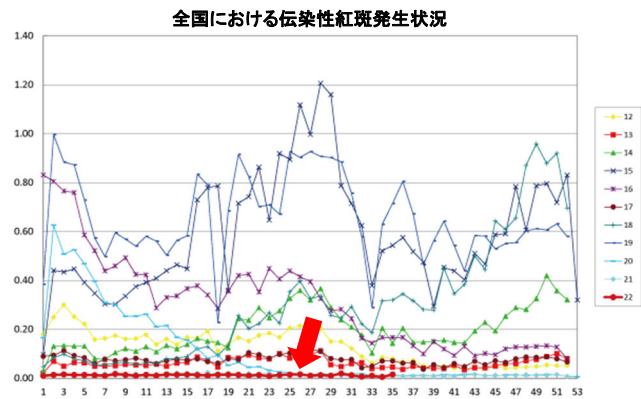
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

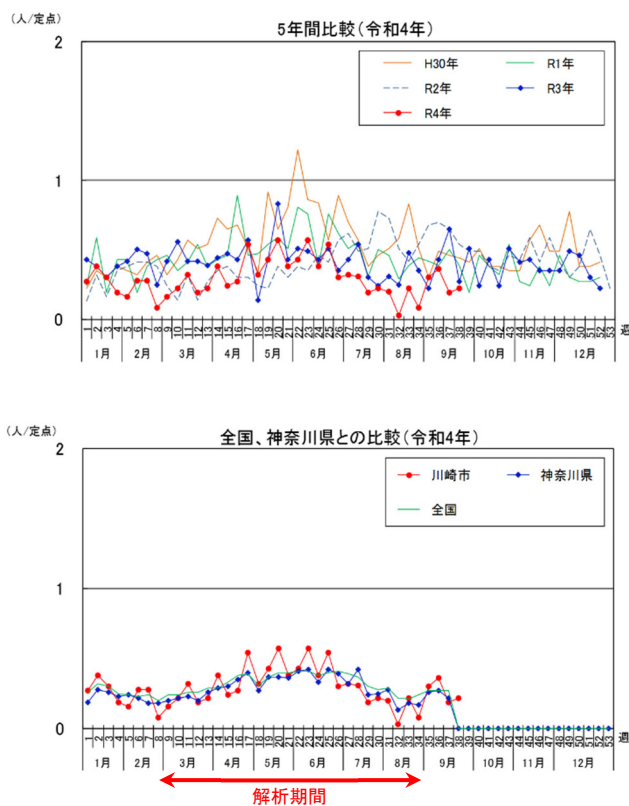


突発性発しん

【川崎市】

今期は定点当たり 0.31 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.59 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

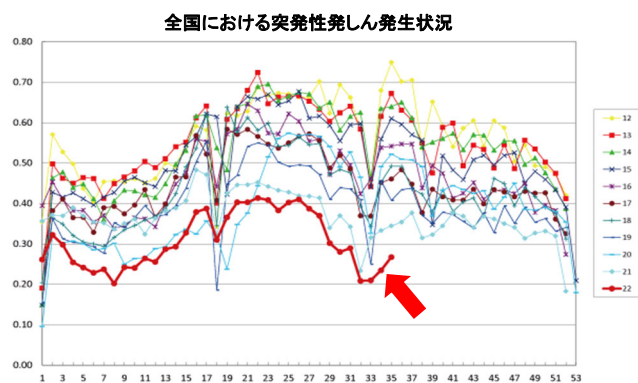
また、年齢階級別では 1 歳以下が 78.0%を占めていました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

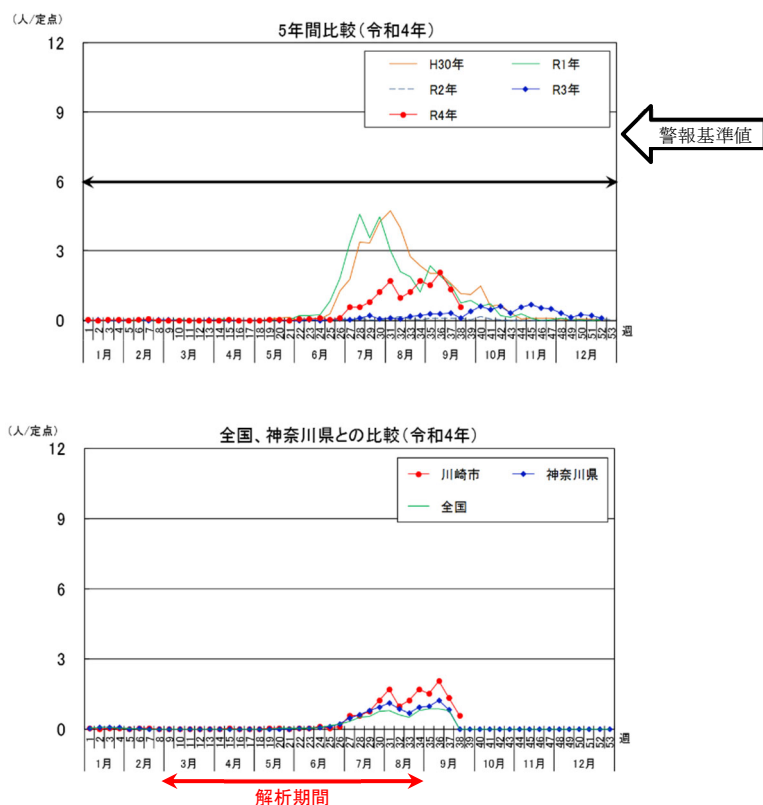


ヘルパンギーナ(警報基準値: 定点当たり 6 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.34 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.50 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。7 月以降患者報告数がやや増加しましたが、第 36 週（定点当たり 2.06 人）をピークに減少しています。

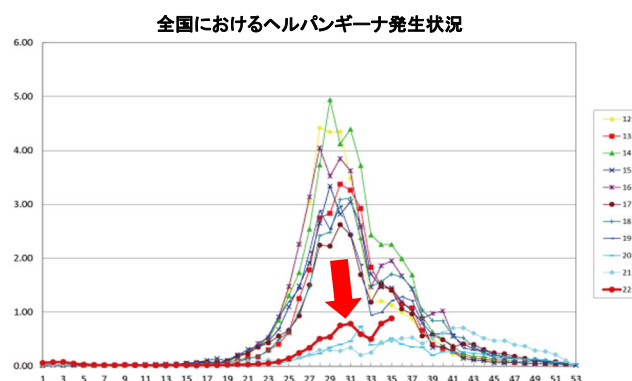
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。

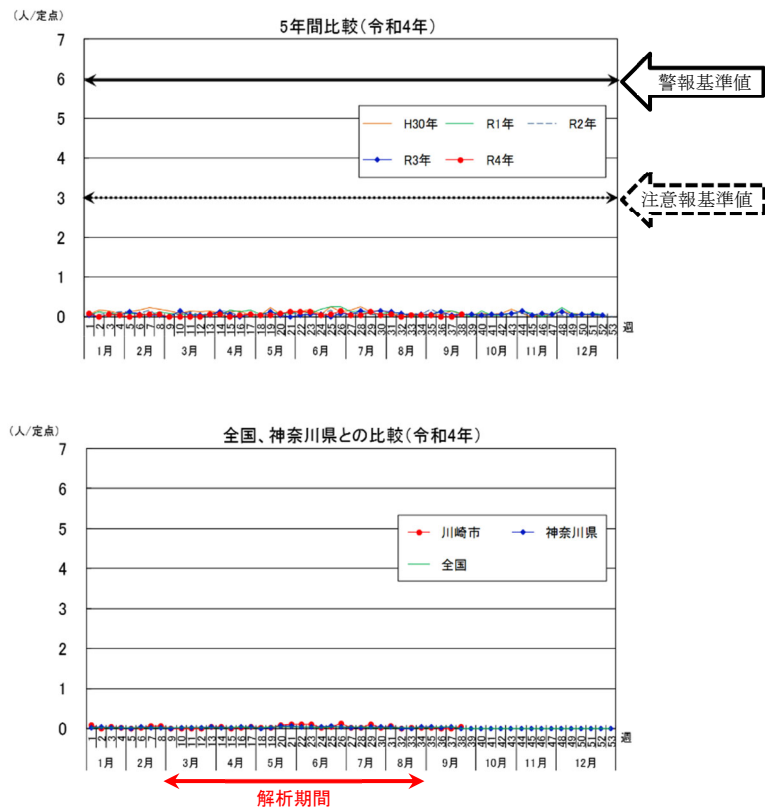


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.05 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.33 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

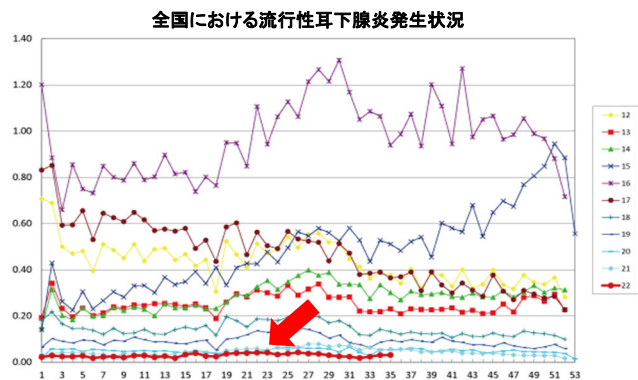
今期、流行発生注意報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的には例年よりかなり低いレベルで推移しました。

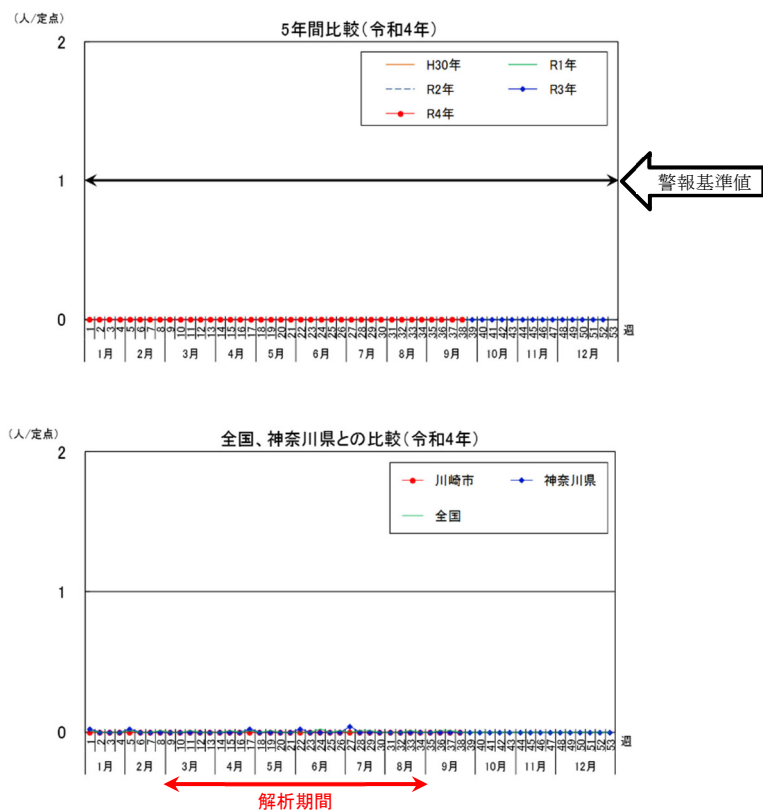


<眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

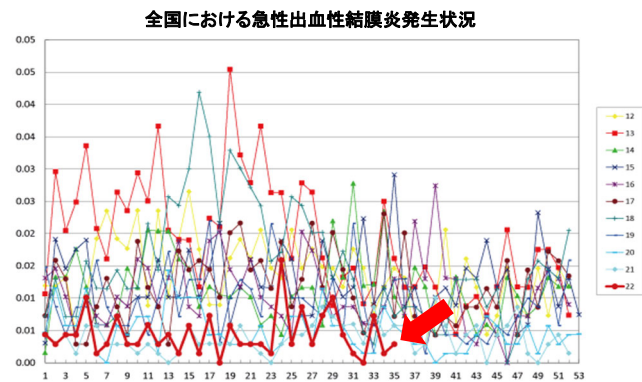
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

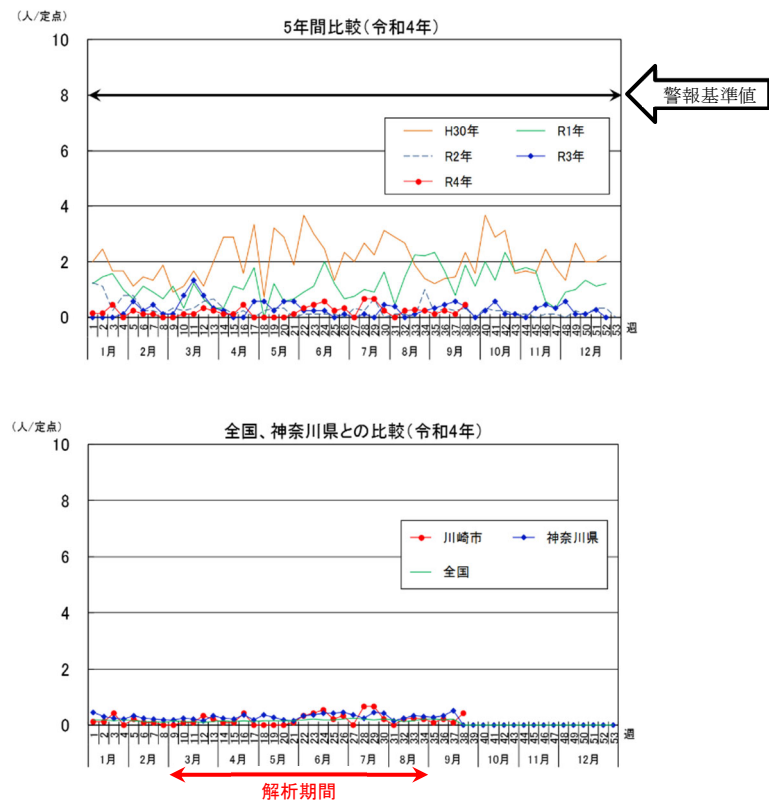


流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり 8 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.22 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.18 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。

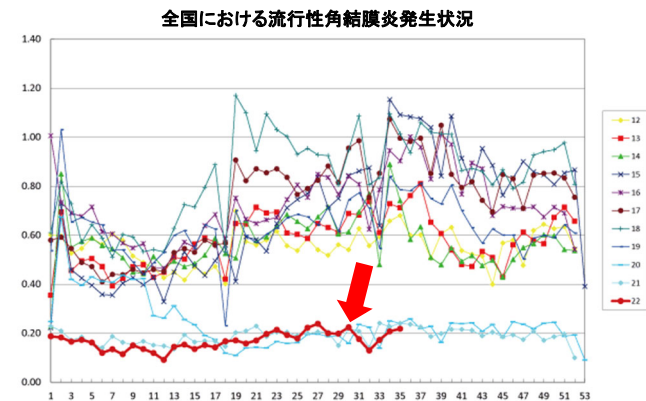


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	36	R4.7.11	眼脂	アデノウイルス 37 型
川崎区	男	28	R4.7.22	眼脂	アデノウイルス 64 型

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

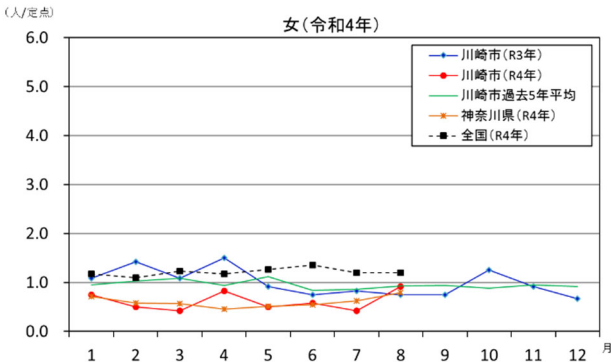
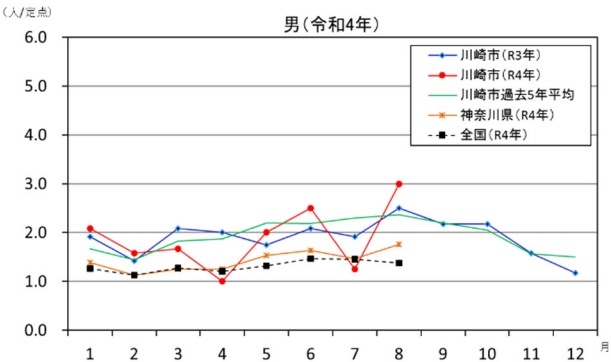
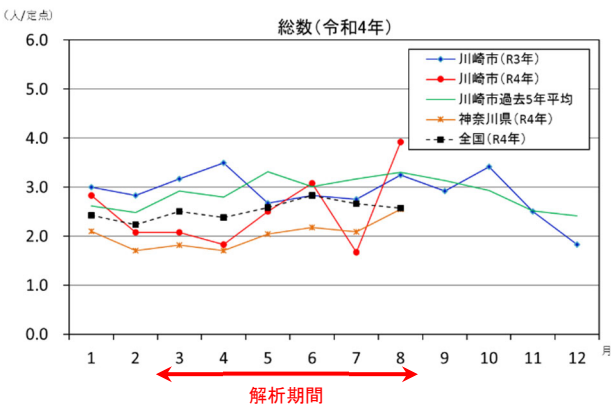


<性感染症定点対象疾患>

性器クラミジア感染症

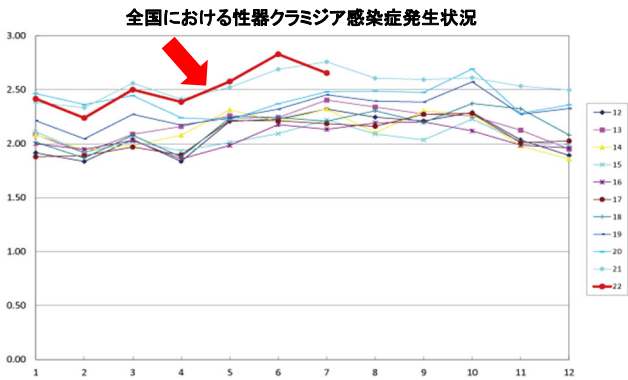
【川崎市】

今期は定点当たり 2.51 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.81 倍で、例年並みのレベルで推移しました。特に 8 月は男性の報告数が増加しました。



【全国及びその他】

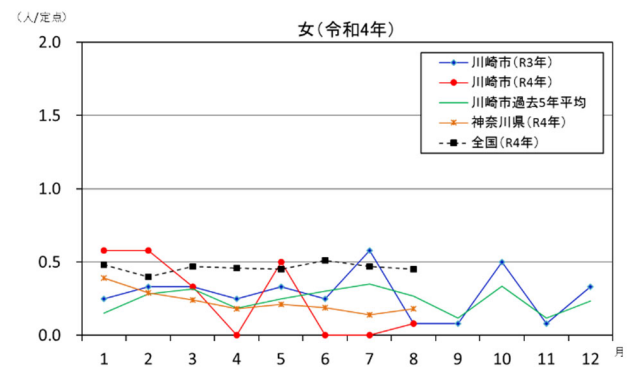
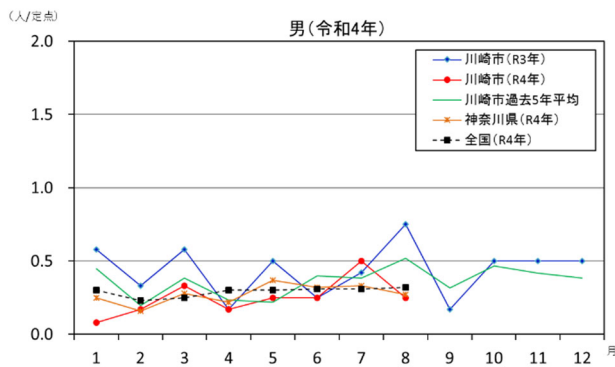
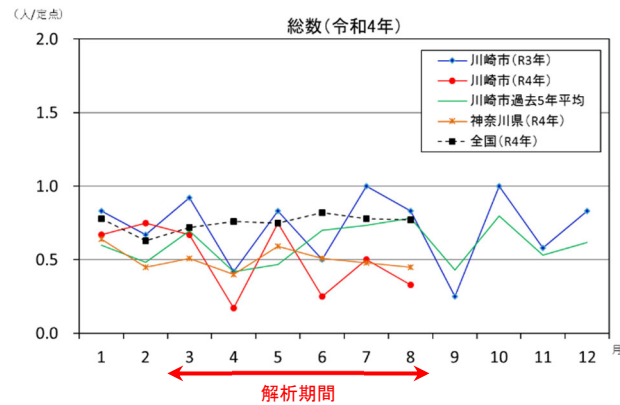
全国的には例年より高いレベルで推移しました。



性器ヘルペスウイルス感染症

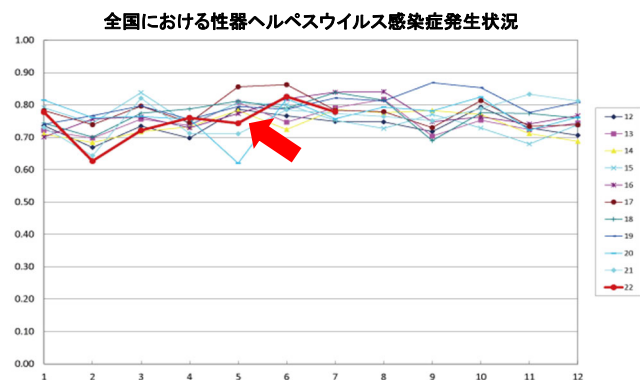
【川崎市】

今期は定点当たり 0.44 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.69 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。男性は 7 月、女性は 5 月に報告数がやや増加しました。



【全国及びその他】

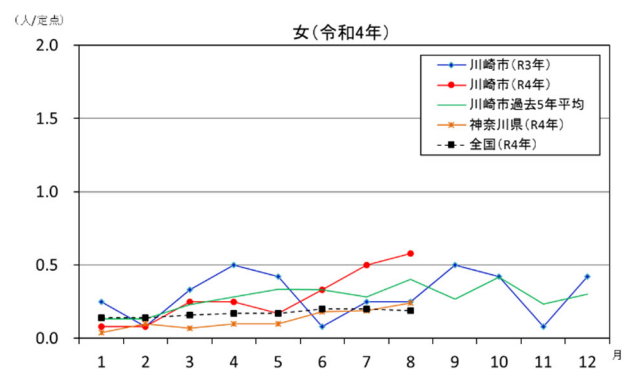
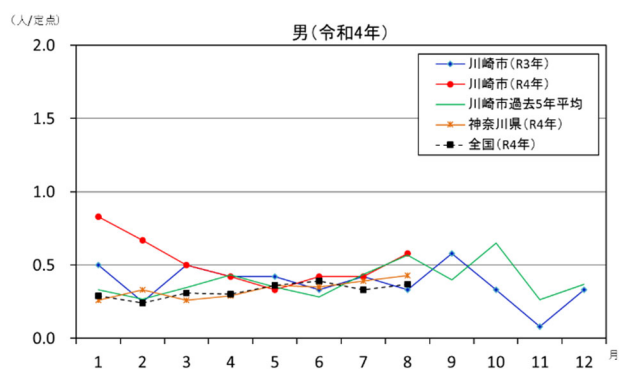
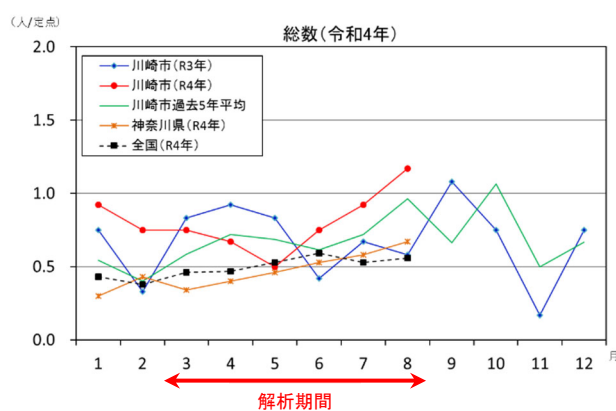
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



尖圭コンジローマ

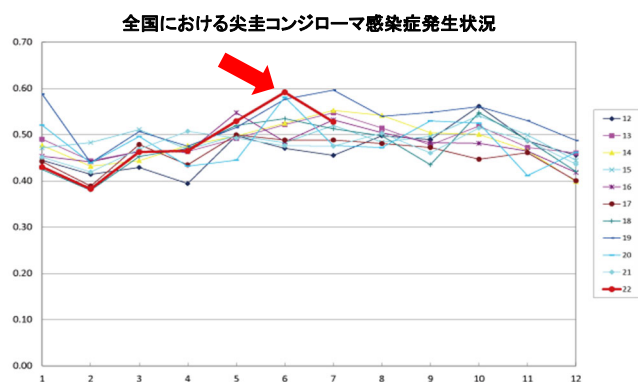
【川崎市】

今期は定点当たり 0.79 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.10 倍で、例年並みのレベルで推移しました。6 月以降報告数が増加し、男性は 8 月、女性は 7 月及び 8 月に特に報告数が増加しました。



【全国及びその他】

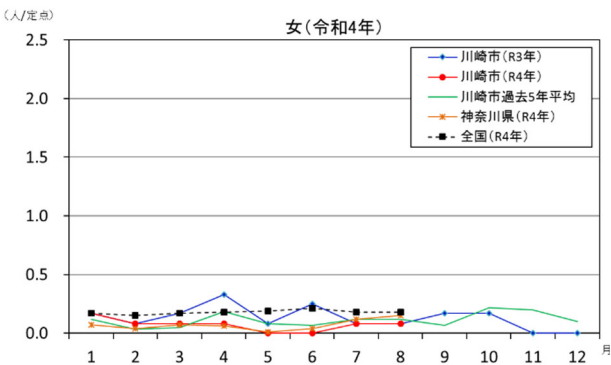
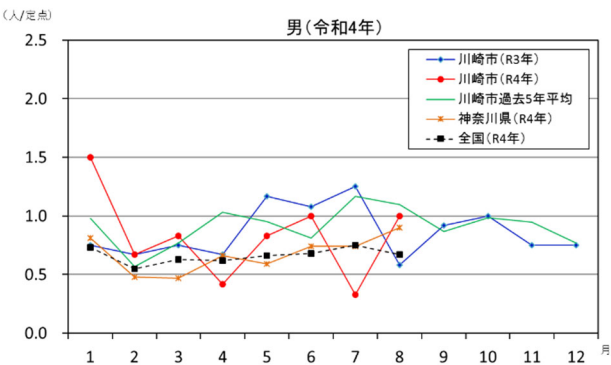
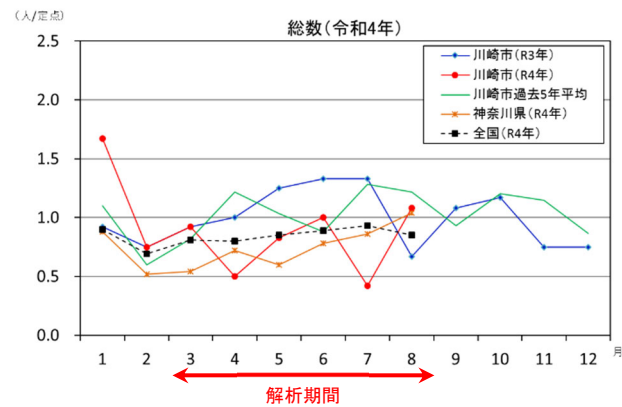
全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。



淋菌感染症

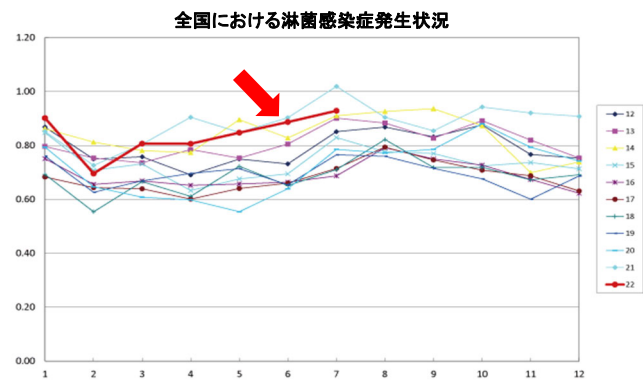
【川崎市】

今期は定点当たり 0.79 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.74 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。特に 6 月及び 8 月に男性の報告数が増加しました。



【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

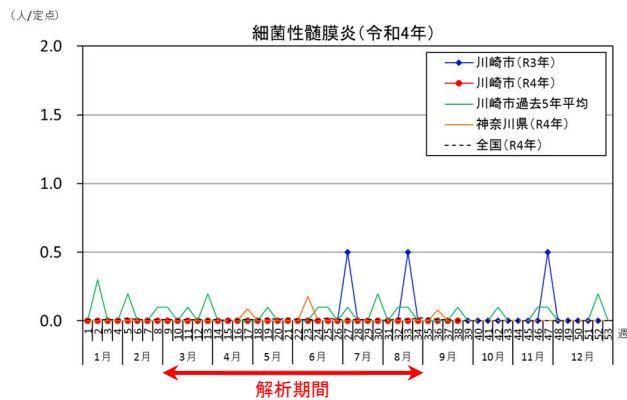


< 基幹定点対象疾患（週報） >

細菌性髄膜炎

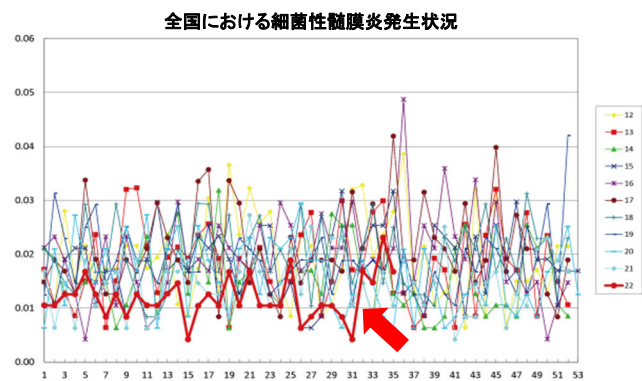
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



無菌性髄膜炎

【川崎市】

今期は定点当たり 0.13 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.74 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

無菌性髄膜炎(令和4年)

なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	女	28	R4.3.17	髄液	陰性
川崎区	男	25	R4.6.10	髄液	ヒトヘルペスウイルス 6 型
川崎区	男	41	R4.7.19	髄液	サイトメガロウイルス
宮前区	男	5	R4.8.9	髄液	陰性
				咽頭ぬぐい液	
				便	
川崎区	男	1 か月	R4.8.23	髄液	陰性

【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

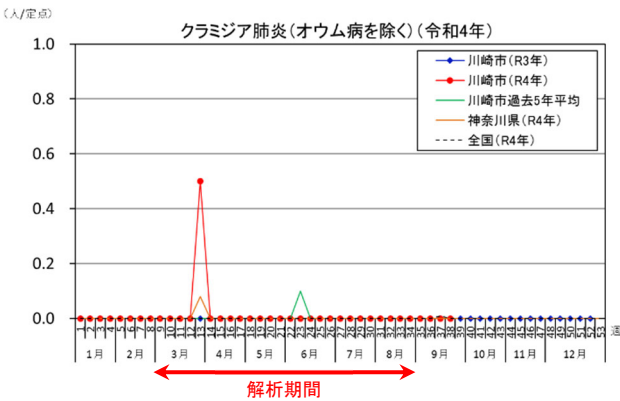
全国における無菌性髄膜炎発生状況

- 19 -

クラミジア肺炎(オウム病を除く)

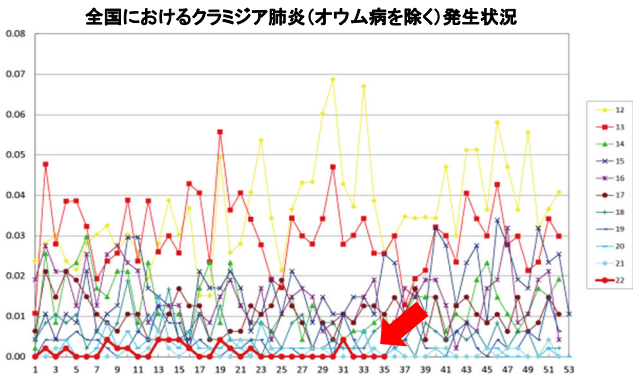
【川崎市】

今期は定点当たり 0.02 人の報告がありました。第 13 週に令和 2 年第 23 週以来 2 年ぶりに 1 件の報告がありました。



【全国及びその他】

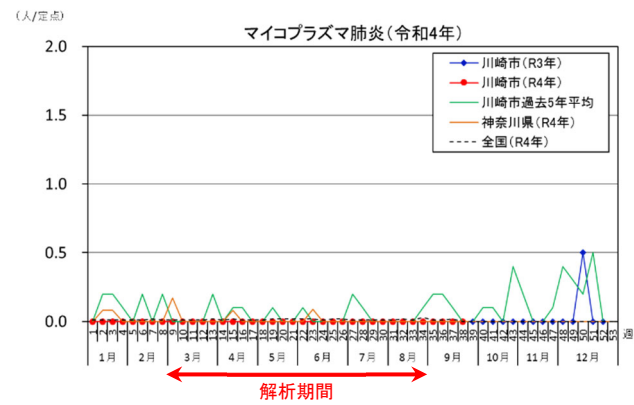
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



マイコプラズマ肺炎

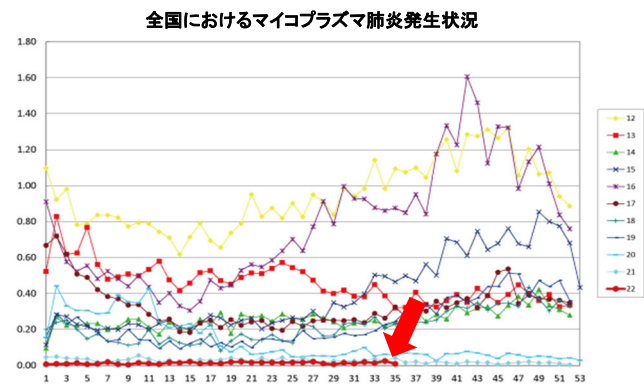
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

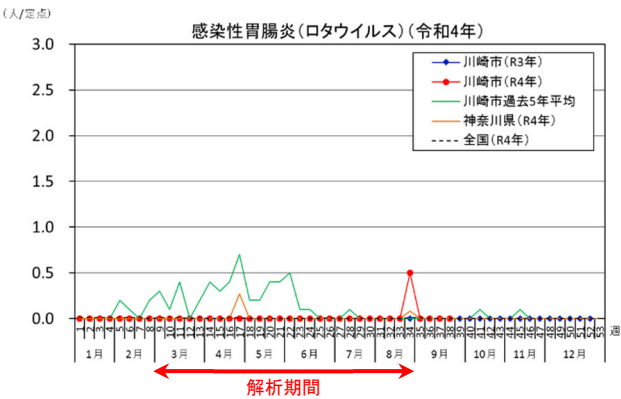
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.02 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.11 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。第 34 週に令和 2 年第 45 週以来 2 年ぶりに 1 件の報告がありました。

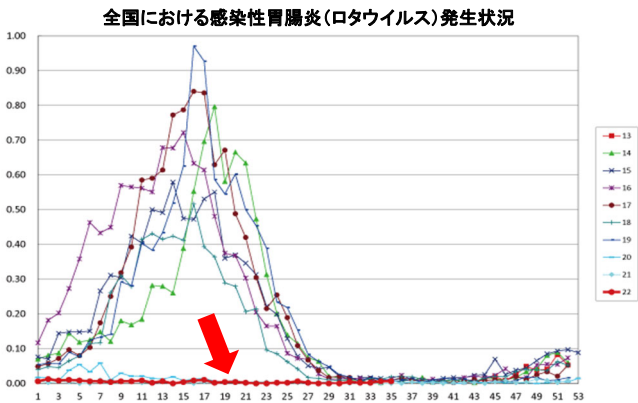


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
宮前区	女	4 か月	R4.8.26	便	ロタウイルス G3P[8]

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

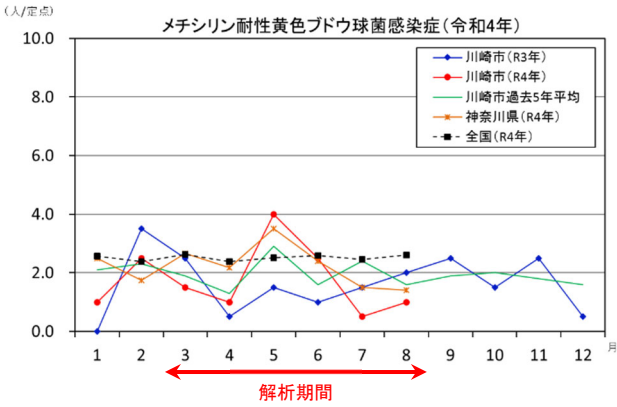


<基幹定点対象疾患（月報）>

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

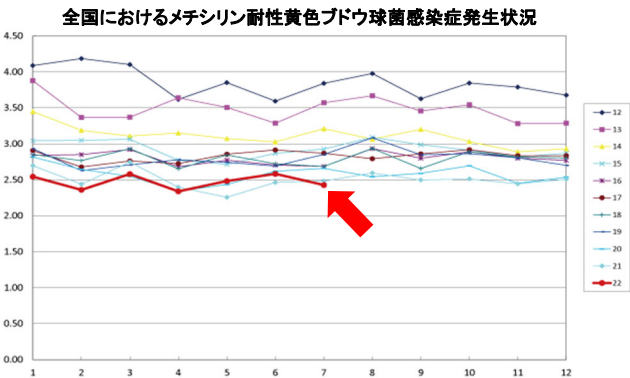
【川崎市】

今期は定点当たり 1.75 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.90 倍で、例年並みのレベルで推移しました。5 月に 8 件の報告がありました。



【全国及びその他】

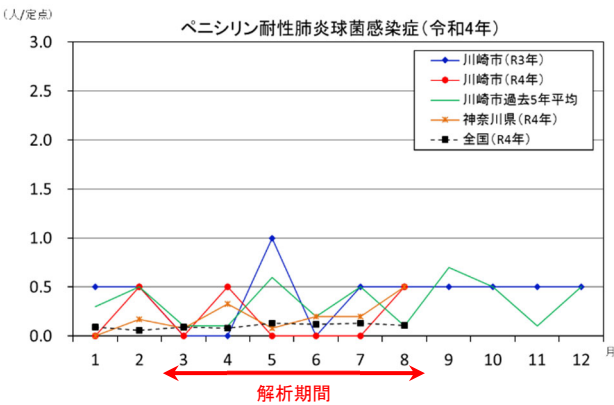
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

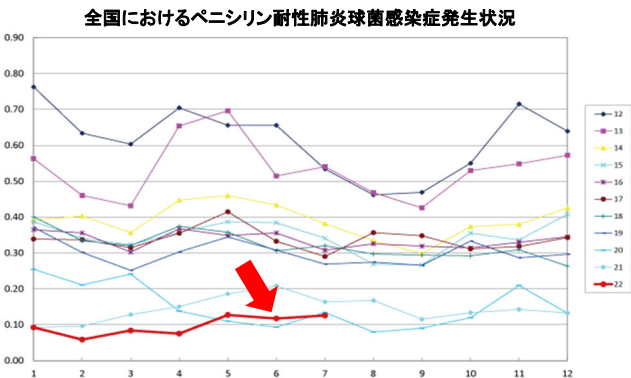
【川崎市】

今期は定点当たり 0.17 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.63 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。4 月及び 8 月に各 1 件の報告がありました。



【全国及びその他】

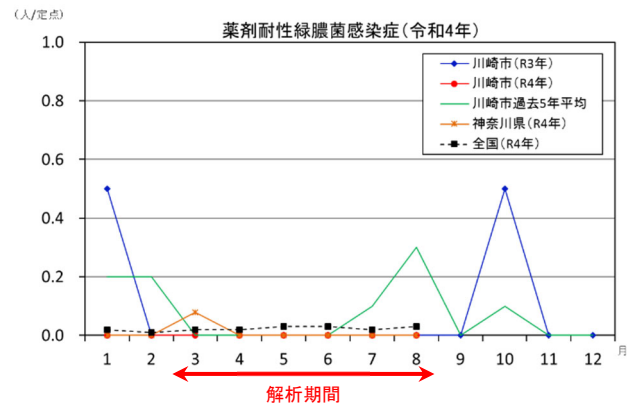
全国的には例年よりかなり低いレベルで推移しました。



薬剤耐性緑膿菌感染症

【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

